

平成26年度 入札監視委員会議事概要

北海道防衛局・帯広防衛支局

開催日及び場所	平成26年12月10日(水) 北海道防衛局 4F 共用会議室		
委員	阿座上委員長(地域経済研究所 理事長) 神谷委員(札幌医科大学 客員教授) 菊地委員(北海商科大学 教授) 木下委員(公認会計士) 津田委員(弁護士) (50音順)		
審議対象期間	平成26年7月1日～平成26年9月30日		
審議対象件数	16件		
1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)			
抽出件数	総件数 5件	(審議概要)	
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)	1件	・事務局から、契約状況、指名停止及び低入札状況の説明
	一般競争(政府調達協定対象外)	3件	
	公募型指名競争	0件	・対象件数から抽出した5件の概要について局担当者が説明後、委員による審議
	指名競争	0件	
	企画競争	0件	
	随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等	1件	・平成25年度に開催した入札監視委員会において審議された契約の工事により建設した建物の現地確認	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	回答	
	<b>【指名停止状況説明】</b> (特になし)  <b>【低入札状況説明】</b> (特になし)  <b>【抽出案件】</b> ○建設工事等 (政府調達協定対象)  a[近文台(26)燃料施設新設等土木工事]  ・1者応札となった背景は何か。	・入札説明書等ダウンロードシステムから資料を入手したが参加申請しなかった会社に理由を確認したところ、配置できる技術者がいなかったことから、入札に参加できなかった旨の回答が最も多かった。	

意見・質問	回答
<p>○建設工事等 (政府調達協定対象外)</p> <p><b>b[上富良野(25)函渠等新設土木追加工事(その2)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本工事はどのような内容なのか。</li> <li>・本工事は追加工事であるが、以前に元工事というものが別にあるのか。</li> <li>・元工事の受注者と本追加工事の受注業者は同じか。</li> <li>・本追加工事には元工事の受注者以外の業者も入札に参加できるのか。</li> <li>・本追加工事を元工事とまとめて一緒に発注することはできなかったのか。</li> <li>・元工事を受注した業者が本追加工事を受注する場合、他の業者が受注する場合よりも有利な面があるのか。</li> </ul> <p><b>c[幌別(25)庁舎新設等建築追加工事(その2)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定価格の算定においてはどのように見積書を徴取したのか。</li> <li>・1者応札となった背景として考えられることは何か。</li> <li>・本追加工事を随意契約することはできなかったのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川を渡るための橋として、函渠(ボックスカルバート)を設置し、その上を舗装する工事である。</li> <li>・25年度に「上富良野(25)函渠等新設土木工事」を発注・契約している。</li> <li>・同じである。</li> <li>・参加可能となっている。</li> <li>・元工事の発注時には予算が不足したため発注できなかったが、今年度になって不足分の予算を確保することができたので、積み残した工事内容を追加工事として発注したものである。</li> <li>・元工事の現場事務所を使用できるなど、部分的に有利になる面はあると考える。</li> </ul> <p><b>c[幌別(25)庁舎新設等建築追加工事(その2)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資材の単価等は、積算基準等に基づき、概ね物価誌の単価を採用している。物価誌等の単価を用いることができないアルミ建具等については、建具メーカー等から見積りを徴取している。</li> <li>・元工事に含めなかった仕上げ工事を発注したものであるが、工事規模が小さく、利幅が小さいため、入札参加者が他にいなかったと思われる。</li> <li>・随意契約は、真にやむを得ない場合以外には適用できないことから、一般競争に付したものである。</li> </ul>

	意見・質問	回答
	<p>・元工事は、予算範囲内に収まる工事内容のみを発注したのか。</p> <p><b>d[平成26年度千歳飛行場周辺地区撫育管理等工事]</b></p> <p>・過去5年間における同種工事の落札率が低い、予定価格が高かったのではないかと。</p> <p>・過去5年間の入札における応札者の顔ぶれが似ている。また、落札者の入札額は70%台から60%台となっているが、応札したが落札できなかった者の入札額の予定価格に対する割合は80%を越えている場合が多いが、問題はないか。</p> <p><b>e[矢白別(26)橋梁整備基本検討]</b></p> <p>・簡易公募型プロポーザル方式とした理由は何か。</p> <p>・技術提案書の特定に当たっては、提出した5社から見積りを徴取しているのか。</p> <p><b>【審議対象契約工事により建設した建物の現地確認】</b></p> <p>○自衛隊札幌病院</p>	<p>・予算を超える工事を発注することはできないため、工事内容の一部を積み残して発注した。</p> <p>・工事内容が剪定であることから、物価誌等の単価を標準的な価格として用いて積算したもので、低落札率となった原因としては、人件費について企業努力があったこと、自社保有の資機材を使用することなどから安価になったものと考えている。</p> <p>・入札参加業者は前年度の入札結果を考慮して応札してきていると考えられる。低落率が低いのは競争入札の結果であり、特に問題はないと考える。</p> <p>・事務処理要領に基づき、基本設計や基本的な検討は簡易公募型プロポーザル方式により技術提案を求めることとされているためである。</p> <p>・技術提案内容の優劣により最も優れた1社を特定し、見積り合せを行うものであるが、本件は積算要領により積算が可能であることから、見積りは徴取していない。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>・特になし</p>	

2. 談合疑義案件(内訳明細書の点検結果疑義)の処理状況について			
談合疑義件数		－件	(審議概要) ・該当案件なし
工事	談合情報	－件	
	点検結果疑義	－件	
業務	談合情報	－件	
	点検結果疑義	－件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意見・質問	回答
		・特になし	
委員会による意見の具申又は 勧告の内容		・特になし	
3 入札結果の事後的統計について			
審議概要		・順位傾向、落札率、応札率及び低落札について説明	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意見・質問	回答
		・特になし	
委員会による意見の具申又は 勧告の内容		・特になし	